

2018年11月28日

## 事業環境インデックスからみた ASEAN 諸国

シンガポールに次ぐ有望国はマレーシア、タイ、インドネシア

アジア事業開発グループ  
シニアコンサルタント 中村昌宏

先月、世界各国の事業環境に関するインデックスが2つ発表された。1つは190カ国・地域を対象とした世界銀行グループの「Doing Business 2019」（以下、「Doing Business」）、もう1つは140カ国・地域をカバーする世界経済フォーラムの「Global Competitiveness Index 4.0 2018」（以下、「GCI 4.0」）である。日本は、Doing Business では39位、GCI 4.0では5位と評価に差があるが、これらの違いは2つの指数の目的の違いに拠るところが大きい。両指数とも「政策ベンチマークの提供」という同じ目的はあるが、Doing Business では「企業活動上の規制に係る客観的な指標の提供」を、GCI 4.0では「生産性決定要因たる『競争力』の測定」を企図している。やや極端な言い方になるが、Doing Business は事業の開始、拡張、清算に係る評価に、GCI 4.0は国際競争を勝ち抜く上での進出先国の現状評価の参考となろう。これらの観点で ASEAN 諸国の評価を見れば、外国企業の誘致を進める政府機関が整備すべき政策ベンチマークとしてだけでなく、今後 ASEAN への新規進出や拠点拡大を予定する日本企業にとっての参考材料となるのではないだろうか。

（図表1）事業環境インデックスにおける ASEAN 諸国の位置付け

国名	GNI per capita (US\$)	World Bank "Doing Business 2019"		World Economic Forum "The Global Competitiveness Index 4.0 2018"	
		Score	(Rank)	Score	(Rank)
シンガポール	54,530	85.2	(2)	83.5	(2)
ブルネイ	29,600	72.0	(55)	61.4	(62)
マレーシア	9,650	80.6	(15)	74.4	(25)
タイ	5,960	78.5	(27)	67.5	(38)
フィリピン	3,660	57.7	(124)	62.1	(56)
インドネシア	3,540	68.0	(73)	64.9	(45)
ラオス	2,270	51.3	(154)	49.3	(112)
ベトナム	2,170	68.4	(69)	58.1	(77)
カンボジア	1,230	54.8	(138)	50.2	(110)
ミャンマー	1,190	44.7	(171)	-	(-)

注：シャドローはユニバースの中で順位が下位になっていることを示す

出所：世界銀行グループ、世界経済フォーラム資料より大和総研作成

2つの事業環境インデックスの ASEAN 諸国のスコアや順位（図表 1）、全体スコアの基となる 10 または 12 の評価項目のスコアや順位（図表 2、図表 3）から、4 つの特徴が窺える。

1 点目は、所得水準（GNI per capita）の高い国ほど 2 つの事業環境スコアが高いことである。ブルネイは該当しないが、シンガポール、マレーシア、タイの 3 カ国は、新たに事業を開始しやすく、また国際競争力の点でも優位にある。これらは労働コストが相対的に高い国々であるが、事業を営む上でのリスクは所得水準の高い国ほど低い傾向にある。

2 点目は、フィリピンの Doing Business での評価が 124 位と低いことである。GCI4.0 での順位も 56 位と決して高くはないが、ASEAN 諸国内での所得水準の順位と比べれば、ほぼ妥当な評価とも言える。Doing Business では、信用情報の充実さやカバレッジの点で「資金調達」が、情報開示や株主権利の点で「少数投資家の保護」が低い評価だった（図表 2）。他方、これらが改善すれば、GCI 4.0 ではタイと同程度に評価されている「技術成熟度」、「マクロ経済環境」、「労働市場」を強みとした成長を享受できると期待される（図表 3）。

3 点目は、日本企業の進出先として評価の高いインドネシアとベトナムとの比較になるが、Doing Business では両国に大きな差はないものの、GCI 4.0 ではインドネシアが高く評価されていることである。新規に進出する際のハードルの高さについては、両国間で大きな差はない一方で、進出後に事業を成長させていくにはインドネシアの環境の方が好ましいということになる。

（図表 2） Doing Business10 の評価項目における ASEAN 諸国のスコアと順位

		シンガ ポール	マレー シア	タイ	ブルネイ	ベトナム	インド ネシア	フィリ ピン	カンボ ジア	ラオス	ミャン マー
Ease of doing business 全体	Score (Rank)	85.2 (2)	80.6 (15)	78.5 (27)	72.0 (55)	68.4 (69)	68.0 (73)	57.7 (124)	54.8 (138)	51.3 (154)	44.7 (171)
Pillar 1: Starting a business 事業の開始	Score (Rank)	98.2 (3)	82.8 (122)	92.7 (39)	94.9 (16)	84.8 (104)	81.2 (134)	72.0 (166)	52.8 (185)	60.9 (180)	77.3 (152)
Pillar 2: Dealing with construction permits 建設許可の取得	Score (Rank)	84.7 (8)	87.0 (3)	71.9 (67)	73.5 (55)	79.1 (21)	66.6 (112)	68.6 (94)	44.2 (179)	67.9 (99)	70.4 (81)
Pillar 3: Getting electricity 電力アクセス	Score (Rank)	91.3 (16)	99.3 (4)	98.6 (6)	86.6 (31)	87.9 (27)	86.4 (33)	87.5 (29)	57.0 (141)	52.8 (156)	55.7 (144)
Pillar 4: Registering property 不動産登記	Score (Rank)	83.1 (21)	80.4 (29)	69.5 (66)	51.5 (142)	71.1 (60)	61.7 (100)	57.6 (116)	55.2 (124)	64.9 (85)	52.3 (136)
Pillar 5: Getting credit 資金調達	Score (Rank)	75.0 (32)	75.0 (32)	70.0 (44)	100.0 (1)	75.0 (32)	70.0 (44)	5.0 (184)	80.0 (22)	60.0 (73)	10.0 (178)
Pillar 6: Protecting minority investors 少数投資家の保護	Score (Rank)	80.0 (7)	81.7 (2)	75.0 (15)	65.0 (48)	55.0 (89)	63.3 (51)	43.3 (132)	50.0 (110)	31.7 (174)	25.0 (185)
Pillar 7: Paying taxes 納税	Score (Rank)	91.6 (8)	76.1 (72)	77.7 (59)	74.0 (84)	62.9 (131)	68.0 (112)	71.8 (94)	61.3 (137)	54.2 (155)	63.9 (126)
Pillar 8: Trading across borders 越境貿易	Score (Rank)	89.6 (45)	88.5 (48)	84.7 (59)	58.7 (149)	70.8 (100)	67.3 (116)	69.9 (104)	67.3 (115)	78.1 (76)	47.7 (168)
Pillar 9: Enforcing contracts 契約の履行	Score (Rank)	84.5 (1)	68.2 (33)	67.9 (35)	61.0 (67)	62.1 (62)	47.2 (146)	46.0 (151)	31.8 (182)	42.0 (162)	24.5 (188)
Pillar 10: Resolving insolvency 破産処理	Score (Rank)	74.3 (27)	67.2 (41)	76.6 (24)	55.1 (64)	34.9 (133)	67.9 (36)	55.2 (63)	48.4 (79)	0.0 (168)	20.4 (164)

注： シャドーはユニバース（190 カ国・地域）の中で順位が下位（96 位以下）になっていることを示す  
出所： 世界銀行グループより大和総研作成

このGCI4.0評価が大きく異なる点は興味深い。現地の日本企業に事業環境をヒアリングしたところ、インドネシアでもベトナムでも、非関税障壁や税制の運用等でのトラブル事例はあり、両国でそこまでの差があるのかという印象があった。しかし、世界経済フォーラムの評価では、①表現の自由、政府による規制の負荷、争議解決における法的枠組みの効率性等の点で「制度」、②携帯電話の加入者率や携帯電話での高速通信の加入者率の点で「技術成熟度」、③政府による補助金や税金の競争阻害への影響、サービス分野での競争の点で「製品市場」、④起業リスクに対する姿勢、権限移譲に対する意欲、創造力に富む企業の成長等の点で「ビジネスの洗練度」、以上の4項目にて両国の評価を分けている(図表3)。

最後は、GCI 4.0の評価項目「イノベーション」で、シンガポールとマレーシア以外がユニバースの平均スコアを下回ったことである。人口あたりの特許や商標の申請件数、国際的な共同発明件数、GDP比でみた研究開発費がいずれも少ないことが主因となっている。ASEAN諸国の大半は、先行して発展した先進諸国等へのキャッチアップ過程にあり、いまだ新たな製品や事業を「創造」することの優先度が高まっていない実情を反映したものとと言えるのかもしれない。

(図表3) GCI 4.0 12の評価項目におけるASEAN諸国の全体のスコアと順位

		シンガ ポール	マレー シア	タイ	インド ネシア	フィリ ピン	ブルネイ	ベトナム	カンボ ジア	ラオス	全世界 平均
Overall 全体	Score (Rank)	83.5 (2)	74.4 (25)	67.5 (38)	64.9 (45)	62.1 (56)	61.4 (62)	58.1 (77)	50.2 (110)	49.3 (112)	60.0
Pillar 1: Institutions 制度	Score (Rank)	80.7 (3)	68.7 (24)	55.1 (60)	57.9 (48)	48.3 (101)	58.3 (45)	49.5 (94)	41.9 (126)	44.5 (119)	55.2
Pillar 2: Infrastructure インフラ	Score (Rank)	95.7 (1)	77.9 (32)	69.7 (60)	66.8 (71)	59.4 (92)	71.3 (54)	65.4 (75)	51.7 (112)	57.5 (99)	65.2
Pillar 3: ICT adoption 技術成熟度	Score (Rank)	85.2 (4)	69.1 (32)	56.6 (64)	61.1 (50)	54.8 (67)	76.2 (17)	43.3 (95)	44.4 (92)	42.7 (96)	52.0
Pillar 4: Macroeconomic stability マクロ経済環境	Score (Rank)	92.6 (42)	100.0 (1)	89.9 (48)	89.7 (51)	90.0 (43)	73.7 (81)	75.0 (64)	74.4 (74)	68.5 (110)	79.4
Pillar 5: Health 保険	Score (Rank)	100.0 (1)	82.6 (62)	87.3 (42)	71.7 (95)	67.6 (101)	85.9 (50)	81.0 (68)	62.9 (104)	59.6 (107)	75.3
Pillar 6: Skills 教育と訓練	Score (Rank)	76.0 (20)	74.2 (24)	63.0 (66)	64.1 (62)	62.9 (67)	66.0 (58)	54.3 (97)	41.0 (121)	49.5 (105)	60.6
Pillar 7: Product market 製品市場	Score (Rank)	81.2 (1)	63.6 (24)	53.4 (92)	58.5 (51)	56.9 (60)	60.9 (44)	52.1 (102)	50.0 (114)	53.5 (91)	56.4
Pillar 8: Labour market 労働市場	Score (Rank)	80.2 (3)	70.2 (20)	63.3 (44)	57.8 (82)	64.5 (36)	64.2 (38)	55.6 (90)	59.7 (65)	55.4 (94)	59.3
Pillar 9: Financial system 金融制度	Score (Rank)	89.3 (5)	84.1 (15)	84.2 (14)	63.9 (52)	67.9 (39)	51.2 (107)	62.3 (59)	53.6 (92)	51.3 (106)	61.4
Pillar 10: Market size 市場規模	Score (Rank)	71.1 (27)	73.0 (23)	74.9 (18)	81.6 (8)	70.2 (32)	37.0 (115)	70.9 (29)	46.2 (88)	41.1 (100)	54.0
Pillar 11: Business dynamism ビジネスの洗練度	Score (Rank)	74.7 (16)	73.8 (19)	71.0 (23)	69.0 (30)	65.8 (39)	58.5 (68)	53.7 (101)	45.3 (128)	40.1 (134)	59.3
Pillar 12: Innovation capability イノベーション	Score (Rank)	75.0 (14)	55.5 (30)	42.1 (51)	37.1 (68)	37.2 (67)	33.9 (79)	33.4 (82)	31.2 (96)	27.4 (117)	42.4

注：シャドローはユニバース(140カ国・地域)の平均スコアよりも低いことを示す

出所：世界経済フォーラムより大和総研作成

---

これら4つの特徴を踏まえると、従前よりASEANの中では事業環境が高く評価されてきたシンガポールに次ぐ有望国として、マレーシア、タイ、インドネシアの3ヵ国を挙げられるのではないだろうか。

－（本文）以上－